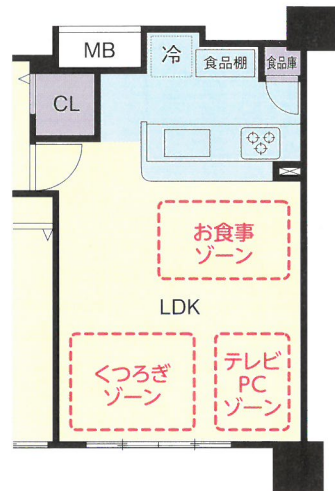


おうちスタイリスト® 米村大子の

# キレイなおうち、ステキな毎日

ものを減らす＝厳選する作業は、  
過去と未来の生活を見つめ直す、  
とても良い機会になるでしょう



## 「ゾーニング」とは？

目的ごとにエリア分けをすること。リビングであれば、その中でくつろぐ場所、テレビを見る場所、ご飯を食べる場所というように分けます。それにより日々安全・快適に過ごせる配置やそこで必要なものが決まり、理想の収納方法が見えてきます。

## LESSON 03

# シニア世代のお片づけを手伝う

子育ても終わり、ご夫婦だけで暮らしているお宅へ収納アドバイスをすると、必ずお聞きすることがあります。それはご夫婦のライフプランのこと。これからどんな暮らしにしたいですか？ 今のご自宅に何年暮らすイメージですか？ と尋ねると——  
「高齢者施設に入るまでここで暮らしたい」  
「あと20年は引っ越しをしないで暮らしたい」  
「近い将来、都心のマンションに住み替える」  
「子ども世帯と同居の予定」と答えはさまざま。

\*\*\*

なぜ、このような質問をするのでしょうか？ それは、お客さまに無駄な時間とお金を使わないようにしていただきたいから。ご家族の住まい方のゴールを確認するためでもあります。

「片づけましょう」と言うのは簡単です。しかし、ゴールをどこに設定するので整理収納のご提案は全く異なってきます。

例えば築30年の家に、さらに20年暮らすのであれば、家の耐久性や機能性を上げるとよいと思うので、収納を考える前にリフォームをお勧めします。

また、高齢者施設に移るという方であれば、ゆくゆくは家を手放すことになるため、少しずつ荷物を軽量化していくようお話しします（思い出が詰まったおうちで、モノと気持ちを整理する作業は、想像以上に気力・体力が必要です）。

中には、片づけ自体が難しい方もいます。その場合は、まず毎日使うお部屋を「ゾーニング」し、安全面を配慮して床にものを置かないようにしてもらいます。空き部屋があれば、そこを物置部屋にして、毎日過ごす空間が安心・安全な場所になる方法をご提案します。

いずれにしてもご夫婦で一度、今後の暮らし方をイメージしていただくことが大切です。そこから収納を考えると自分たちのやりたいことがかなう空間ができる気がしますよね？

そして、人生の第2ステージを豊かに暮らすためにも、ものを減らすことをお勧めします。それは今持っているものを厳選する作業であり、家の中が片づくばかりか、これまでの生活とこれからの生活を見つめ直す、とても良い機会になるはずです。

子ども部屋を  
ご主人の趣味の部屋にしたり、  
キッチンをミニマムにリフォームして  
奥さまがもっと楽しめる空間にしたり——  
ご夫婦のライフプランが決まれば  
収納方法も変わって、  
笑顔もきっと増えていきますよ！



プロフィール

米村 大子

YONEMURA HIROKO

整理収納アドバイザー1級、住宅収納スペシャリスト認定講師・宅地建物取引士。現在、「おうちスタイリスト®」として、モデルハウス・個人宅の間取りや収納の提案を行うほか、テレビやラジオにも多数出演。住宅・リフォーム関係のイベントや幼稚園・小学校などの講演・マイホームセンターの収納コラムも担当。個人のお客さま向けの「訪問お片づけサービス・お片づけ講座」も好評開催中。

おうちスタイリスト米村大子officialサイト  
<https://www.kurashi-kata.com/>